

コラム⑩ 子育て家庭（乳幼児親子）の居場所

多くの子どもは3歳以上になると、保育園や幼稚園に通いますが、0～2歳児を在宅で子育てしている家庭は、常時お子さんと保護者が一緒に過ごすことになります。在宅での子育ては、保護者にとって孤独な子育てとなってしまうこともあります。

区には、0歳～18歳の子どもや、その家庭が抱える問題について気軽に話せる窓口として、子ども家庭支援センターがあります。

子ども家庭支援センターの愛称は、「キッズな」です。「キッズな」の由来は、「子ども」を意味する「キッズ」と、「絆（きずな）」の「な」を掛け合わせたものです。子ども家庭支援センターが、家庭や地域の絆・心の架け橋となるような施設でありますように、という思いが込められています。

キッズな大森・蒲田・洗足池・六郷のほか、45か所の児童館及び4か所の保育園では、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる「子育てひろば」を開設しています。子育てひろばは、親子で一緒に遊びながらゆったり過ごせる場所で、同じような年齢のお子さんを持つ方と交流し、子育て仲間を見つけることができます。また、子育ての悩みや育児についての相談ができるほか、一時保育・児童館の情報や、子育て講習会、親子で楽しむイベント案内などもあります。なお、令和4年5月には、新たに新蒲田保育園の一区画を活用した子育てひろばを開設する予定です。

さらに、すべての児童館などでは、乳幼児親子を対象とした交流ひろば「ファミリールーム」を開設しています。児童館は子どもの遊び場だけでなく、親のための居場所でもあり、気軽に困りごとの相談や子育ての息抜きができる、身近な居場所になっています。



親子で工作タイム（折り紙）



みんなで楽しくふれ合い遊び